

図書館だより

1

令和5年1月11日
明和中学校図書館

新年あけましておめでとうございます

3学期が始まりました。それぞれ気持ちを新たに、目標や計画を立てたことと思います。新年の気持ちを忘れないよう、1年を過ごしていきましょう。3年生はいよいよ受験シーズンですが、息抜きも兼ねて図書館をのぞいてみてくださいね。

◆◆校内読書旬間(12/7~12/21)結果◆◆



◇ みんなでパズルを完成させよう！

本を借りる毎にピースを貼っていく、というパズル、無事に完成しました！パズルになった本は『小説版 ONE PIECE FILM RED』でした。キャラクターの目の部分を自分で貼りたい！など静かなバトル(?)もありつつ、後半は完成するか心配でしたが、最終日にギリギリ完成。ありがとうございました！

◇ プレミアムカードをめざそう！

期間中にスタンプを集めると3学期からプレミアムカードになる、という企画でした。プレミアムカードとは、いつでも3冊まで借りられる個人カードです。期間中に図書の本を9冊借りればゴールでした。

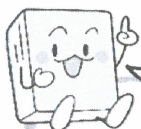
・プレミアムカードを獲得した人数

1年生：11人 2年生：6人 3年生：1人

計18人でした！



冬休み前に借りた本は13日(金)までに返却しましょう！



読んでみない？

卯年なので...

「うさぎ」のお話

『因幡のしろうさぎ』 古事記より

日本の昔話としてよく知られているお話。童話になっていますが、元々は『古事記』の中の、ひとつのエピソードです。ワニ(サメのこと)をだまして海を渡ろうとしたうさぎが、怒ったワニに毛皮をはがれて...というもの(短いお話なので知らない人は読もう)。この「しろうさぎ」、実は白いうさぎではなく、皮をはがれて赤裸になったうさぎを「素兎」と書いてしろうさぎ、だったとか。出雲大社のHPにもこのお話が載っていますが、ひらがなで表記されています。興味深いですね！

『古事記』

ひえだのあれ おおのやすまろ
稗田阿礼・太安万侶

日本神話に登場する神オオナムジは旅の途中で出会った女神スセリビメと心を通わせませんが、それを快く思わない彼女の父、スサノオはオオナムジを蛇がひしめく部屋やムカデとハチだらけの部屋に泊まらせます。さらに、放った矢を取りに行かせたり、頭のシラミ（実はムカデ）をとらせるなど、次々に難題を課しますが、スセリビメの助けもあり、オオナムジは辛くも切り抜けます。ついにスサノオはオオナムジの力を認め「オオク

ニヌシ」の名を授け、スセリビメを娶（めと）ることを許しました。これ以後、オオクニヌシは地上の国作りに乗り出していきます。『古事記』は稗田阿礼と太安万侶の編纂（へんさん）によって七二一年に成立した歴史書で、神々が活躍する創成神話や歴代天皇の伝記で構成されています。時に奔放ですらある、豊かな想像力に満ちた物語からは、日本人の心の原型が生き生きと伝わってきます。また、同時期に成立した『日本書記』は編年体で古事記とはかなり違う内容になっているので、比較するのも興味深いでしょう。

※『古事記』は岩波書店、学研プラスなど、各社から出版されています。

名作 まちがいさがし

無数のムカデが這い回り、ハチが飛び交う部屋に宿泊させられたオオナムジ。前日の蛇だらけの部屋の時と同じように、スセリビメからひそかに手渡された、不思議な帯をふりまわして窮地を切り抜けるのです。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



答えは図書館で!